第5条関係

記入例

誓 約 書

私は、支援金の申請を行うに当たり、次の事項について誓約します。なお、伊万里市が必要な場合には、佐賀県伊万里警察署に照会することについて承諾し、照会で確認された情報は、今後私が伊万里市と行う他の契約等における身分確認に利用されることに同意します。

記

・支援対象者及び支援対象経費の要件を満たしています。
・今回申請する原材料については、令和８年４月１日から令和９年２月２８日までの間に納品及び支払が完了しています。
・今回申請する経費について、国、地方公共団体その他の公的機関から補助金、支援金その他これらに類するものの交付を受けておらず、今後も受ける予定はありません。
・申請の内容に虚偽、不正等が判明した場合は、支援金の返還等に応じます。
・支援金の交付の決定によって生じる権利の全部又は一部を市長の承認を得ずに第三者に譲渡し、又は承継しません。
・申請内容の確認のため、伊万里市から調査又は報告の求めがあった場合はこれに応じます。
・今回申請する原材料は、自らの陶磁器の製造に使用するために購入したものであり、原材料又は生地等として他者に販売するために購入したものではありません。
・自己又は自社の役員等が、次のいずれかに該当する者ではありません。
　ア　暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成３年法律第７７号。以下「法」という。）第２条第２号に規定する暴力団
　イ　法第２条第６号に規定する暴力団員
　ウ　暴力団員でなくなった日から５年を経過しない者
　エ　自己、自社若しくは第三者の不正な利益を図る目的又は第三者に損害を与える目的をもって暴力団又は暴力団員を利用するなどしている者
　オ　暴力団又は暴力団員に対して資金等を提供し、又は便宜を供与するなど直接的若しくは積極的に暴力団の維持運営に協力し、又は関与している者
　カ　暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者
　キ　暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれらを利用している者
・上記アからキに掲げる者が、その経営に実質的に関与している法人その他の団体又は個人ではありません。
・照会等の結果、上記誓約事項が虚偽であった場合、伊万里市との間における契約、許可、登録、申請等が取消し又は却下されても、異議ありません。

令和〇年〇月〇日

住 所　伊万里市〇〇町〇〇番地
※法人等の場合は法人等の住所、個人事業主の場合、代表者住所
商号又は名称　株式会社　〇〇
代表者氏名　代表取締役　〇〇　〇〇
代表者生年月日　昭和〇年〇月〇日

㊞

法人の場合は代表者印（法人実印）
個人事業者の場合は認印で可
※シャチハタ不可